

# 令和6年度版 授業チェックリスト



令和5年度全国学力・学習状況調査、島根県学力調査の結果より全ての教科で使用できるように作成しています。  
学習指導要領が目指す資質・能力を具現化した、全国学力・学習状況調査の問題や島根県学力調査の問題を各単元の導入やまとめ、振り返り等に活用しましょう。

## 授業前



- 授業者として、ゴールに到達した子どもの姿をイメージしていましたか。【評価の明確化】
  - 身につけさせたい資質及び能力の明確化
  - 評価のための情報収集場面とその方法の明確化
- 授業者として、学んだことを繰り返し活用する場面を設定したり、家庭学習(宿題・自主学習)とのつながりを考えたりしましたか。【家庭学習を見通した授業づくり】
  - 家庭学習の内容、授業が終わった後の家庭学習の確認

## 導入

### 「なぜ?」「どうして?」「○○を知りたい、調べたい」



- 子どもたちは、「なぜ?」「○○を考えたい」といった思いや考えから立てためあてをもとに、1時間の授業の見通しをもちながら学習に取り組んでいましたか。【子ども目線のめあての設定】
  - 子どもたちが興味・関心をもつことができる教材(教具等)の提示
  - 地域の教育資源(ひと・もの・こと)の効果的な活用
  - 本時の授業のねらいと見通しの確認



生活に関わりのある事象の教材化

## 展開

### 考えることは楽しい。仲間と一緒に考えることはもっと楽しい。

- 子どもたちは、発問や課題に対して、自分の考えをもち、めあてを意識して学習に取り組んでいましたか。【追究意欲の喚起】
  - 思考をゆさぶる発問
  - 個人の考えをもつ時間の確保
  - 子ども一人一人に合った学び方や進め方の工夫
- 子どもたちは、目的や視点を意識して話し合う活動に取り組み、根拠をもとに考え(明らかにして)、自分の考えを表現していましたか。【自分の考えの構築の支援】
  - 必要に応じた「一斉・グループ・個人」などの学習形態の工夫
  - 教師のファシリテート力(ねらいに迫るため、話し合う活動の目的や視点を明確にする。)
  - 自分の思いや考えを語尾まで話す活動、書く活動の設定
  - 自分の考えや他者の考えを説明する活動の設定
  - 1人1台端末を含めたICT機器の日常的かつ効果的な活用



「自分の言葉化」  
自分の考えを語尾まで  
しっかりと話すこと、書くこと

## 終末

### わかった! やっとできた! もっとやりたい! 次の授業が楽しみ!

- 子どもたちは、めあてに沿ったまとめをし、どんなことを学んだかを自分の言葉で表現しながら授業の振り返りをしていましたか。【達成感・次時への意欲喚起】
  - 本時のめあてに対するまとめの確認
  - 1時間の授業でわかったこと、考えたこと、学び方、思考の変容、もっと知りたいことなどの振り返り(振り返りシート、伝え合いなど)
- 子どもたちは、授業が終わってももっと知りたい、調べたいという意欲をもっていましたか。【家庭学習への意欲付け】
  - 本時の学習内容を定着させる家庭学習の提示
  - 本時の学習内容を発展させる家庭学習・ヒント等の提示
  - 1人1台端末を活用した家庭学習の在り方の研究

